

キャラクター名  
玄野 一人(くろの かずひと)

プレイヤー名

シンドローム	バロール		ワークス	ヒーローC	カヴァー	マイナーヒーロー
	バロール			年齢	15	性別
オプション	覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	30 %
出自	安定した家庭		経験	憧れのヒーロー	邂逅	保護者

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0		1			1	行動値	9
感覚	2		0			2	(非装備時)	9
精神	4		0		1	5	戦闘移動	14
社会	2		0			2	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	5	
運転:			芸術:			知識:ヴィラン	2		情報:ヒーロー	5	
運転:			芸術:			知識:			情報:ヴィラン	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ブラックダイヤモンド	
パワーソース:デーモン	
ユニバーサルフォン	
ハイアウト	
ヒーローマニア	
カテゴリ:ブラックアウト	
ヒーローズクロス	
アンチレネゲイドシェル	
アンチヴィランネット	
高性能治療キット	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
D:序列不能	P	N		
キャプテン・マシュリカ	P 憧憬	N 劣等感		
二宮 葵	P 感服	N 不信任		
天童 遥	P 懐旧	N 悔悟		
遥を狙う何者か	P 好奇心	N 不安		
クロノス	P 信頼	N 憤懣		
	P 執着	N 脅威		

最大財産P: 14    残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ:バロール	2		メジャー				-	
効果:	崩壊のスフィア							
崩壊のスフィア	5	2d10	オート	視界	単体	自動	120↑	
効果:	D0-ル直前に使用、D+Lv×2D							
因果歪曲	2	3	Xジャー	-	範(選)	-	-	
効果:	範囲(選択)化、同Iが不可							
黒星の門	5	2	Xジャー	-	-	-	-	
効果:	同Iが不可を可に+判定+(Lv+1)							
時の棺	1	10	オート	視界	単体	自動	100↑	
効果:	判定失敗、未判定対象は不可							
暗黒の槍	2	3	Xジャー	-	-	対決	-	
効果:	装甲無視、HP-5							
黒の鉄槌	6	1	Xジャー	視界	-	対決	-	
効果:	ダ×Lv×2+2、同Iが不可							
霸王幻魔眼	5	5	Xジャー	-	単体	対決	80↑	
効果:	ダ×Lv×5							
魔王の理	7	2	Xジャー	-	-	対決	-	
効果:	ダ×Lv×2							
偏差把握	1							
効果:	重力による周囲の把握							
ディメンジョンゲート	1	3						
効果:	どこでもドア							
レスキューアクション	1							
効果:	登場と同時に人々を救う							
屑鉄の橋	1							
効果:	宙に足場とか架けられる							

幼い頃、レジェンドヒーロー:キャプテン・マシュリカに救われ、それ以来ヒーローを志した少年。とはいうものの、ごく普通の一般家庭に育った彼にとって、その壁は高く険しいものだった。そんなある日のこと、彼は偶然、時の悪魔と名乗る存在と接触し力を手に入れることとなる。それは、限定的な時空間操作をも可能とする、異常出力の魔眼だった。代償として、彼はその心の内側に、何もかも破壊しつくしたいという衝動を植えつけられることとなる。それを抑えるために、普段は視界を塞ぎ、力を通して世界を見るようにしている。

そして、彼はヒーローとなった。だが、当然の如くその異常極まる力は全うなヒーローとしてある事を許さず、また、自分の攻撃による被害から人々を守るために、戦闘時は時間停止を行うため、知名度がほとんど無い。そのため、一般からの依頼がほとんど来ることが無く、割と貧乏している。

戦闘スタイルとしては、主に高出力の魔眼を用いて相手を叩き潰す力押し。精密に狙いをつけることも出来るが、それを行うと制御の負荷で自分まで傷つるので多用できない。時間停止能力はワーディングによる周囲の保護に性能を割いているため、オーヴァードなどには基本的に通用することは無い。ただし、奥の手として、特別な時間停止を用意しており、そちらはオーヴァードにも通用する。また、真の奥の手として、悪魔の力を全開にした、超高出力の魔眼による蹂躞を保持している。

一話終了後

あれ以来、少しずつ舞い込むようになった依頼への対応に追われつつ、彼女を救うための手立てを探し、あちらこちらで調査を続けている。

